



校長室だより

令和5年度

7月20日

NO. 18

1学期間、ご支援・ご協力ありがとうございました。

保護者の皆さん、並びに学区の皆様、1学期間、子供の学校生活や行事、授業、「ふるさと学習」等、多岐にわたり、多くのご協力、ご支援をいただき、ありがとうございました。紙面ではありますが、お礼申し上げます。本年度は、コロナ感染症明け（まだ収束はしていませんが）の1年となりました。けれど秦梨小では、今までと変わらないことも多く、（市内には、コロナ明け「どうする？」と考えている学校が多い中）これまで通り、大きな混乱もなく、新しく5年度をスタートできたのは、皆様のおかげだと感謝しております。

夏休みに向けて、終業式では、子供たちには二つのお願いをしました。「目標をもって挑戦すること」と「自分の命は自分で守ること」です。休み中、また暑い中、ご家庭で子供たちが過ごす時間が増えます。小学生は様々な面で「自分のことは自分で」できるようにしなければなりません。夏休みは、なにかと保護者のご支援・ご指導が多くなる機会も多くなります。子供にとって、貴重な時間となるよう、一層のご協力お願いいたします。

中学校では3年生にとって最後の部活動の大会「市長杯」が、始まっています。（小学校は10月始めのキッズデイズが最後の大会になりますが、中学校はキッズデイズが最初の大会「新人戦」になります）私も小学校の校長として市長杯に呼ばれて、「柔道」の会場に行ってきました。中学生は小学生と比べてさすがに体も大きく、また最後の大会ということで白熱した試合で見ごたえがありました。「一本」や「技あり」などは、見ていて気持ちのいいものです。思い切りや読みがなければ、なかなかできるものではありません。また、「指導」というのもあり、試合では、自分から組み合い、技をかけにいかなければ、「指導」を与えられてしまいます。それによる反則負けもあります。考えれば、スポーツはそういうものだと、強く感じます。どの競技・球技も待っている、自分から働きかけなければ、進んでいきません。試合本番では、誰かの言う通りにやるわけにはいきません。目の前の相手や競技に対して、自分で考え、自分で動かなければならないのです。

学校生活も、また夏休みも同じであると思います。教育目標ともつながりますが、「自ら考え、自ら実行する」ことが大事です。2学期には、部活動の大会や学芸会、山の学習や修学旅行などの多くの行事があります。勉強もますます頑張ります。また、来年度の「小規模特任」に向け、希望される方の体験も始まります。また、県政150周年ということで、「ラーケーションの日」も設定されます。（詳細は後日、お伝えします）学校行事においても、やることは同じでも、子供たちにとって内容などは、初めて出会うこととなります。そうした新しく訪れる様々な場において、子供たちが自分で考えて活動できるようにしていかないと、成長できません。そうすることで子供にとっても「楽しい」2学期になると考えます。今後とも、引き続き、ご支援・ご協力、お願いいたします。